

新薬と同等の効果で価格の安いジェネリック
(後発)医薬品の使用状況を調査しました

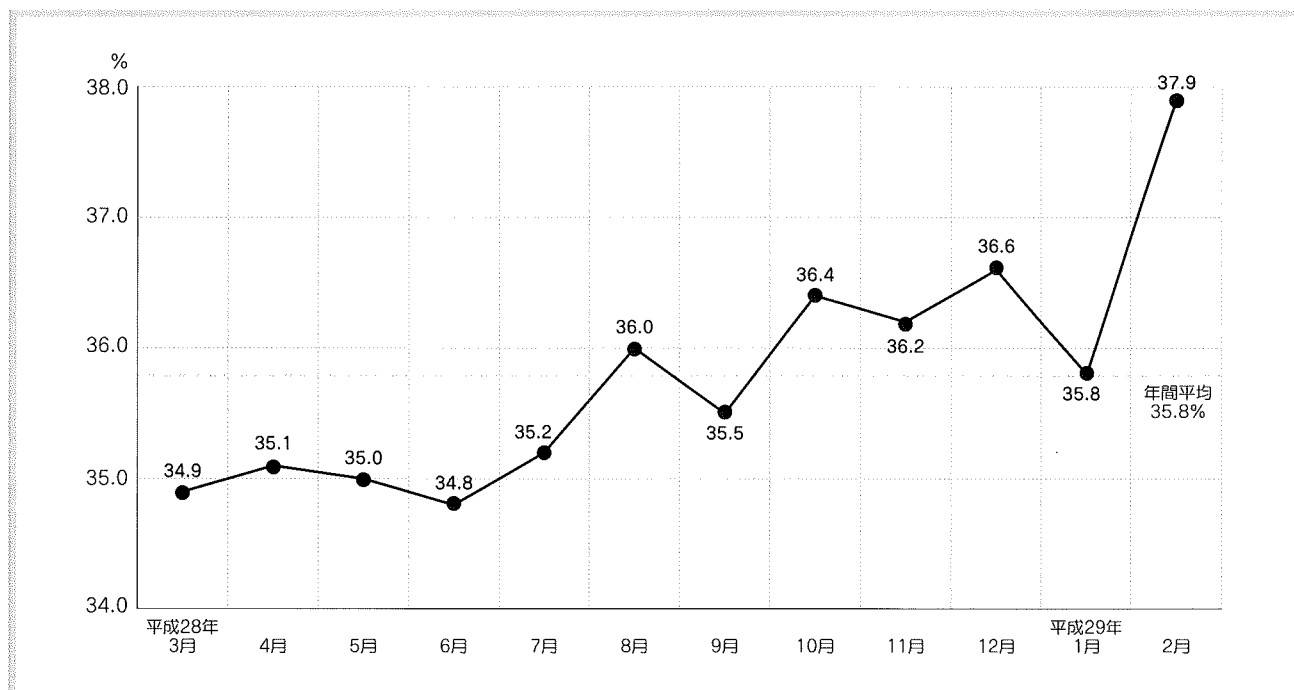
「ジェネリック医薬品」使用率は 35.8% (年間平均) に上昇

当組合では、調剤報酬明細書のデータを基に、先発医薬品からジェネリック医薬品に変更した場合の自己負担額に500円以上の差が生じる方を対象に、「ジェネリック医薬品促進通知」を年2回送付し、ジェネリック医薬品の使用を推奨しています。

ジェネリック医薬品に変更することで、自己負担を減らすだけでなく、健保の財政を圧迫している医療費の削減にも効果があります。今後とも、ジェネリック医薬品の使用促進に、ご協力をお願いいたします。

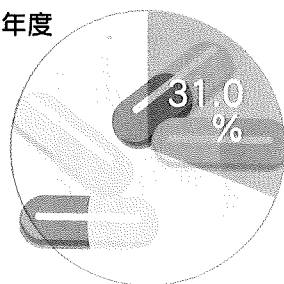
なお、ジェネリック医薬品への切替えについては、かかりつけ医にご相談ください。

ジェネリック医薬品使用率 平成28年3月～29年2月

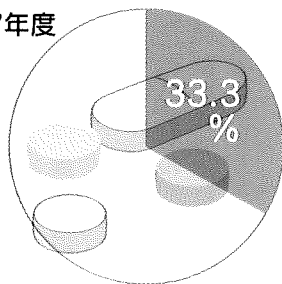


★平均使用率は平成26年度が31.0%、平成27年度が33.3%、平成28年度が35.8%と着実に増加傾向にあります。

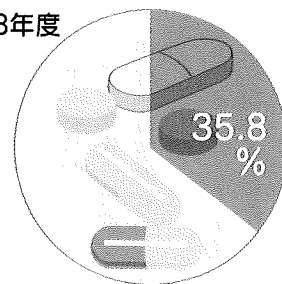
平成26年度



平成27年度



平成28年度



⇒ 次回のジェネリック医薬品促進通知の発送は、平成29年10月です。